

# 峠の向こうは春

## 卒業おめでとうございます！

明日は卒業式です。明日は「進路通信」よりも「学級通信」や担任の先生のお話を優先したいので、一日早めに最終号を発行します。

卒業式や卒園式はすでに幼稚園や保育園、そして小学校でも体験していると思いますが、今回の卒業式は「義務教育修了」という大きな節目になります。

今までの学校教育は、法律で「親の義務」「国家の義務」と定められているものですが、それが終わった以上、これからの「教育」は自分の意志で選ぶ事になるし、実際にみなさん一人一人が自分の希望に沿って進学校を決めてきました。

もっとも、中学校を卒業したからといっても全て自分の力と責任で生活できるわけではなく、これからも親や家族などの援助を受け続けることには変わりありません。でも自分で判断し責任を負う部分は中学以上に大きくなるので、それを自覚して欲しいと思っています。

さて、卒業式とは誰のために行われると思いますか？ 当然主人公は卒業生であるみなさん一人一人ですから、みなさんのために行われるものです。みなさんが、この卒業式をどう迎えたいのか、最後の学活を仲間とどう過ごしたいのか、あるいは「旅立ちの日」をどう歌いたいのか、など。自分の意志をはっきりさせて明日を迎えたいものです。この時期、全国津々浦々で中学校の卒業式が行われますが、すべて同じだとは言えません。もちろん、「旅立ちの日」を卒業式で合唱する中学校は、何千校とあるかもしれませんが、みな同じではありません。三中だけの「旅立ちの日」であり、三中だけの「卒業式」であり、3年〇組だけの「最後の学活」があるはず。それらを、どんなものにするのかは、すべて主人公であるみなさんの気持ち次第です。主人公とはそういう意味です。

そして、その一方で卒業式を感慨深く迎える人々がいます。まず保護者の方です。自分の子どもの「義務教育修了」という区切りは親にとっても大切な行事です。先に書いたように、「義務教育」が終了したからといっても、まだまだ我が子を支え、援助することになります。何か「ほっと」するものだし、我が子の「晴れの姿」を見て感動します。そして、子どもの成長を実感すると共に、幼かった頃からの思い出もよみがえります。

また、保護者の方ほど長く深くはありませんが、学級担任を始めとする我々教師にとっても、卒業式はみなさんの成長を確認すると共に、みなさんを次の学校等に引き継ぐことを実感する場面です。

親も担任も自分の子ども（生徒）を手放して褒めたり自慢したりすることは少ないかもしれませんが、心の深い部分では褒めたいし、自慢したい親心があります。「しっかりしたお子さんですね。」と言われれば、「いやいや、まだまだ未熟者で」と否定しつつも内心喜ばない親はいないでしょう。

そういった複雑な親心が、素直に子どもの成長を祝福できるのが「入学式」であり、「卒業式」です。

## 人とつながりを大切にして、自分の目標に向かって進もう！

さて、みなさんは新しい進路先で生きていくことになります。そして、何年後かには、社会に出て生きていくことになります。これまで多くの中学生を見てきて、一番大切なのは、人とつながることだと思います。中学校の時、多くの友だちから慕われたり、もめごとの中に滅多に入らなかつたり、先生方とも良好な関係を築くことができた人は、ほとんど心配ありません。新しい進路先で、きっと自分なりにやりたいことが見つかるでしょうし、何かしら目標を持つと思います。その目標・やりたいことなどに向かって行く上で、基盤になるのは人間関係です。人間関係が安定している人ほど、目標に向かう気持ちは常に前向きです。しんどいことがあってもすぐに友だちに相談できます。

逆に、中学時代に、自分の思い通りいなくてすぐに不平不満を言ったり、人間関係でトラブルがあったり、先生方とも良好な関係が築けなかった人の方が心配です。これは、スポーツなどの能力や学力を伸ばす上で、ブレーキになる大きな要因です。いくら目標を持っていても、人間関係で悩んだり、何かの原因でイライラする毎日を送ったりしては、目標に対して集中することができません。

この1年の進路通信の中で、個人の努力と同じくらい強調したのは、この人間関係づくり、人とつながるということです。これは何歳になっても重要です。人とつながる、自分のまわりにコミュニティをつくる中で、是非自分の目標に向かって、頑張ってください！みなさんの前途に幸あれ！！

## 保護者の皆様へ

お子さまのご卒業おめでとうございます。この卒業という節目を迎え、我が子の成長を改めて実感しておられることと思います。

この一年間みなさまのご理解とご支援をいただきありがとうございました。4月からはそれぞれの生徒が、それぞれが選んだ進路先で、生き生きと活動することを願います。

義務教育が終了したとはいえ、お子たちが社会に出て活躍するためには、まだまだみなさまのご支援が必要になると思います。今後もお子さまの成長を見守っていただきますよう、よろしく願いいたします。

# 3/17金 公立高等学校中期選抜の合格発表について

## 【Ⅰ】発表は受検した学校で行われます。まず、受検校に行ってください。

- (1)〔受検票〕が必要です。〔受検票と共に高校から配布された文書も必要〕  
(2)合格発表の時間は、10:30～12:30です。

- ①遅れることなく**必ず時間内に受検した高等学校に行ってください。**  
②合格を確認し、**合格校を間違いなく確認**してください。  
(見間違いや思い込みで間違わないようにしましょう。)

受検番号の発表とともに《説明や指示》に関することが掲示されていますから、  
落ち着いて指示通りに行動してください。

合格校(入学予定校)が受検校と同じ場合はその場で「入学の手続き」をします。

**合格校が受検した学校と違う場合は、合格した学校に行き、入学の手続きをします。**

毎年、第2順位高校への行き方が分からず、苦労する人がいます。

**万が一のため、第2順位の高校の場所や、行くための交通手段も確認しておきましょう。**

※**今回も前期選抜同様、webによる合否確認ができますが、掲示発表を確認することが基本です。webを利用したことによる余計なトラブルが起きないようにくれぐれも注意して下さい。**

## 【Ⅱ】合格校での手続き について

- (3) **合格手続きの締切時間は高校によって異なります。絶対に遅れないようにしなさい。**

第2順位高校に合格した場合、移動に時間がかかる事もあります。  
時間に余裕を持って、発表を確認しなさい。  
また、「手続きの締切時間が分からない」「締切時間に間に合わない」場合は、  
中学校(075-955-2556)に連絡をしなさい。

- (4)合格している学校で手続きをしてください。手続きには〔受検票〕が必要です。  
(5)手続きのときに、入学予定校から様々な文書「入学のしおり(手引き)」等を受取ります。  
落ち着いてその場で内容を確認しなさい。

## 【Ⅲ】不合格だった場合 について

- (6)すぐに中学校に報告に来てください。

## 【Ⅳ】中学校への報告 について

- (7)中学校では、**10:30～12:30に昇降口**でみなさんの報告を待っています。  
合格・不合格いずれの結果になったとしても必ず来て下さい。

- ①報告者の氏名・合否結果・合格校の確認をします。また開示結果の報告も行うこと。

・**報告が漏れると大変なことになります。**(必ず本人自身がしてください)。

- ②不合格の場合はすぐに担任と今後の方針を相談・確認をします。

- ③学校は授業中で、校舎内への立ち入りは厳禁です。  
昇降口周辺でも騒がないでください。

★ **報告に来ている仲間の中にはいろんなケースと事情があります。**  
**仲間への気遣いを忘れず行動してください。**

## 【Ⅴ】「学力検査得点(受検者の教科別得点と総合点/200点)の簡易開示請求」 について

\* **中期受検した人すべて必ず開示してもらってください。前期以上に重要ですので、必ず行って下さい。**

- ①開示期間：令和5年3月17日(金)～4月14日(金)  
〔全日制〕 9:00～16:00 <土・日・祝日除く>  
②開示場所：**自分が受検した高校(合格校と受検校が異なる場合は要注意です)**  
③簡易開示を請求できる者：受検者本人。  
④必要書類：受検者本人の場合は、「受検票」と「生徒手帳など本人であることを証明する書類」。  
⑤その他の注意事項：各高等学校の行事の関係や開示請求希望者数により、対応に時間がかかることもあるそうです。